

# セフティボックス取扱方法

LS-2035F/LS-3540T

発行 株式会社 LOTS

## 1) セフティボックスの扉を閉めるとき

4桁の任意番号を入力し、“Lock” ボタンを押すと扉が閉まります。

## 2) セフティボックスの扉を開けるとき

施錠時に設定した4桁の番号を入力すると解錠され扉が開きます。

誤った番号を4回以上入力すると“HOLD15”と表示され全ての機能が15分間機能しなくなります。

15分経過後、施錠時に設定した4桁の番号を入力すると機能が回復します。

## 3) 通常時のセフティボックス正面スクリーン表示について

“BA-HI”：バッテリー（電池）は充分残っています。

“BA-LO”：バッテリー（電池）が少なくなっています。早めに交換してください。

“CLOSE”：ドアのシリンダーが閉じようとしています。

“CLOSED”：ドアが閉まりました。

“OPEN”：ドアのシリンダーが開こうとしています。

“OPENED”：ドアが開きました。

## 4) エラー時のセフティボックス正面スクリーン表示について

“ERROR”：入力した番号に誤りがあります。

“ERROR1”：ドアのシリンダーに何かが引っかかりドアが開きません。

“ERROR2”：ドアのシリンダーに何かが引っかかりドアが閉じません。

## 5) バッテリー（電池）残量の確認・交換方法

“Lock” ボタンを押すとスクリーンに“BA-HI” “BA-LO”と表示されますので【上記3）参照】、

電池の残量を確認してください。“BA-LO”と表示されたら扉の内側に装着されているネジ・カバーを外し電池（単3アルカリ乾電池4本）を交換してください。

## 6) 中に貴重品が入った状態で電池が切れてしまった場合

テンキーの右側にあるカバーを外し、キーの差し込み口にマスターキーを差し込み回すと扉が開きます。

電池を交換し、扉を閉めた状態でキーを外してください。

マスターキーで開閉を行なった際、4桁の暗証番号はリセットされませんので開閉後はマスターコードで暗証番号のリセットを行なってください。

## 7) 4桁の暗証番号を忘れた場合

予め設定されているマスターコードを入力することにより扉を開けることができます。

※マスターコードの変更はできません。